

第2回 相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会

橋本駅周辺地区小委員会

次 第

日 時:平成26年11月11日(火)

午後7時00分から

場 所:ソレイユさがみ

セミナールーム1

開 会

1 あいさつ

2 議事

(1) 第1回橋本小委員会の概要について

(2) 橋本駅周辺のまちづくりについて

- ・土地利用
- ・交通ネットワーク
- ・駅前空間
- ・土地利用構想(案)

(3) 相模原駅周辺地区小委員会における検討状況について

3 その他

閉 会

* 配布資料

- ・第2回橋本駅周辺地区小委員会次第
- ・橋本駅周辺地区小委員会委員名簿
- ・座席表
- ・資料1 第1回橋本小委員会の概要について
- ・資料2 橋本駅周辺のまちづくりについて
(土地利用、交通ネットワーク、駅前空間及び土地利用構想(案))

相模原市広域交流拠点整備計画検討委員会
橋本駅周辺地区小委員会 委員名簿

	区 分	氏名 役職等
1	学識 経験者	岸井 隆幸 日本大学理工学部土木工学科教授
2		飯島 泰裕 青山学院大学社会情報学部社会情報学科教授
3		屋井 鉄雄 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
4	市住民	五十嵐 淳 公募市民
5		中山 晃子 公募市民
6		大用 尚 橋本駅周辺まちづくり推進会議構成員
7		草野 寛 橋本駅周辺まちづくり推進会議構成員
8	関係団体	原 正弘 橋本駅周辺まちづくり推進会議会長
9		阿部 健 相模原市観光協会専務理事
10		座間 進 相模原商工会議所専務理事
11		田所 昌訓 相模原市自治会連合会会長
12	公共交通 事業者	山口 拓 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社企画部長
13		二村 亨 東海旅客鉄道株式会社中央新幹線推進本部企画推進部担当部長
14		高山 恒明 京王電鉄株式会社鉄道事業本部計画管理部長
15		三木 健明 神奈川中央交通株式会社運輸計画部長
16	関係行政 機関	寶珠山 正和 神奈川県県土整備局都市部交通企画課長
17		太田 剛 神奈川県相模原北警察署交通課長

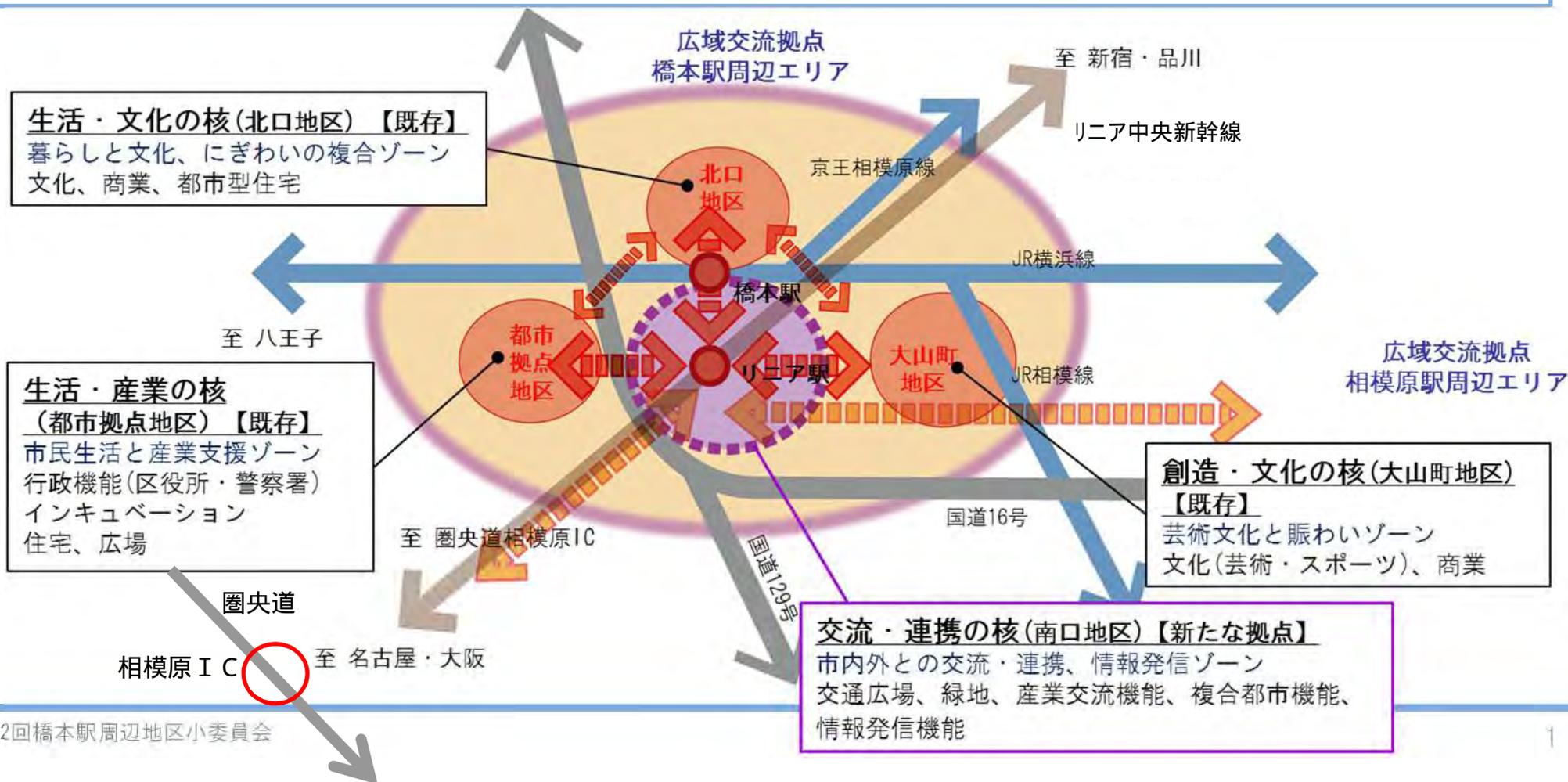
：委員長 ：副委員長

第1回橋本小委員会の概要について

資料 1

[土地利用] ○まちづくりの方針 都市構造（橋本駅周辺）

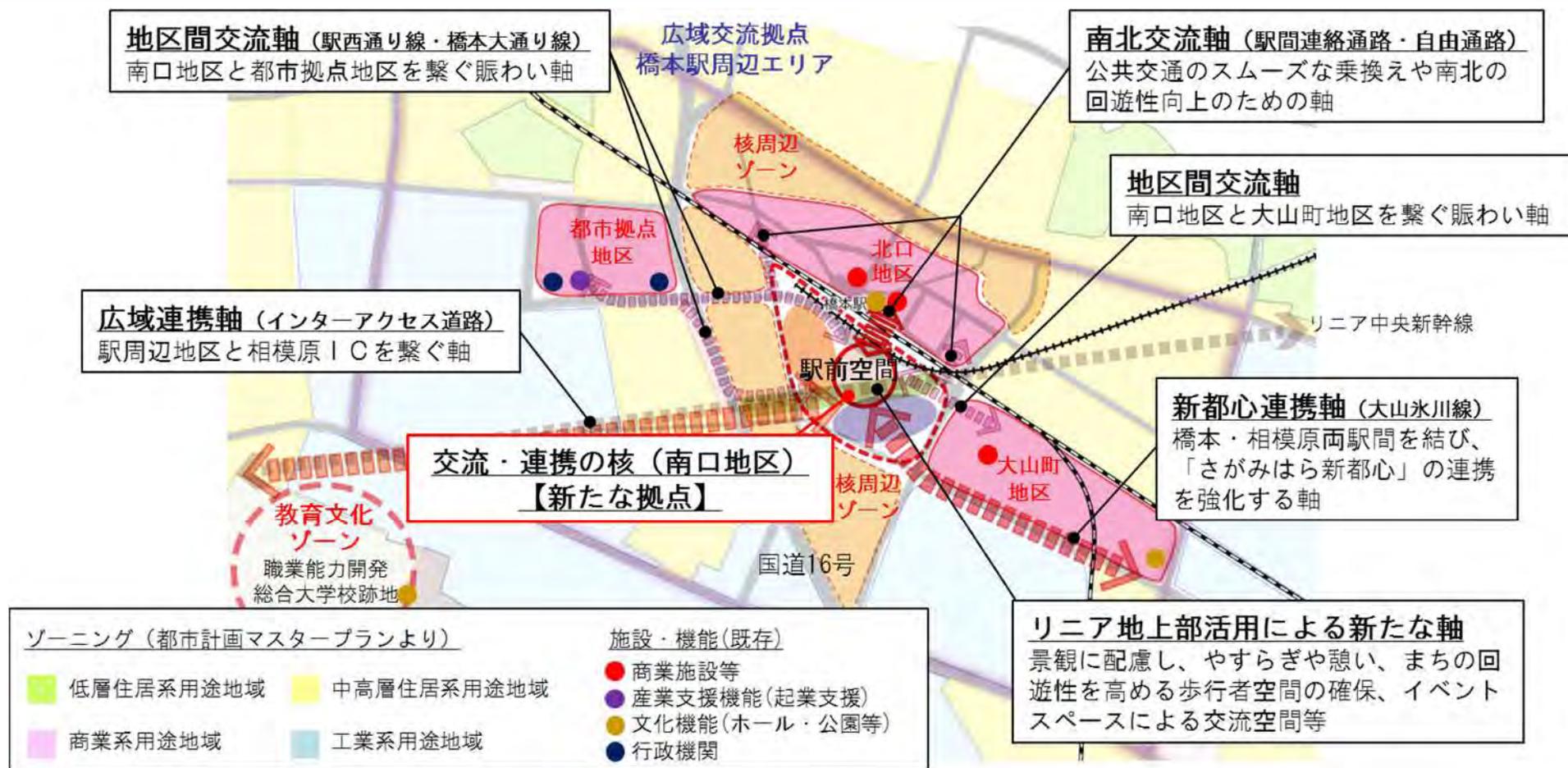
- 橋本駅周辺では3拠点の形成が図られている中、県立高校移転、リニア駅開業を見据え、南口に新たな核を形成し、「交流・連携の核」として、広域的な連携軸を結ぶターミナルとしての機能を担う
- 核どうしを交流軸で結び、それぞれの核が有する機能・魅力を相互に高め合うことで、駅周辺地区全体の発展につながる都市構造を形成し、「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」の整備を図る。



第1回橋本小委員会の概要について

[土地利用] ○まちづくりの方針 土地利用方針図（橋本駅周辺）

- 南口地区の核育成のため、土地利用転換や高度化を検討する。
- 核周辺ゾーンについては、社会経済環境の変化や開発需要に応じ、中長期的にまちづくりを誘導するため、土地利用転換の方向性等について検討する。



第1回橋本小委員会の概要について

[土地利用] ○まちづくりの方針

土地利用方針図（橋本駅南口）

- ものづくり産業交流ゾーンおよび複合都市機能ゾーンは、基本計画を踏まえ、各々の役割に応じた機能を導入する
- 駅前空間には、公共交通や交流軸が結節し多くの人々が行き交う場所に相応しい機能の導入を検討する（具体的な内容は今後の小委員会にて検討）



駅前空間

- ・市内外からの広域的な来街者や地域住民の交流・賑わいを創出する機能を検討
- 【導入機能例】
- ・バスターミナル(高速バス含む) ・広場空間
- ・憩い潤い、防災機能 ・賑わい施設 等

複合都市機能ゾーン

【役割】

- ・国内外からの業務機能誘致
- ・少子高齢化に対応した医療・福祉・多世代共生の拠点

【導入施設例】

- ・商業、飲食施設
- ・医療、福祉施設
- ・オフィスビル
- ・多世代型居住施設等

ものづくり産業交流ゾーン

【役割】

- ・国内外との交流による産業のイノベーション拠点
- ・宇宙開発やロボット産業等を核とした交流拠点
- ・多彩な産業のインキュベーション拠点

【導入施設例】

- ・産業交流施設
- ・研究、教育施設
- ・宿泊施設(ホテル)
- ・起業支援施設 等

第1回橋本小委員会の概要について

[土地利用] ○リニア駅上部空間等の活用の方向性

- 立地特性・地域ニーズ・周辺ゾーンとの連携などを考慮しながら、以下に示すような役割を担うために必要な機能の導入を検討する（具体的な内容は今後の小委員会にて検討）
 - ・ 広域的なゲートとしての役割（リニアの技術、周辺自治体を含めた観光の情報発信など）
 - ・ リニアへのスムーズな乗継ぎ（リニア駅に隣接した駐車場など）
 - ・ 回遊性の向上や賑わいの形成（賑わいを連続させる商業モールなど）
 - ・ 県立高校の風景の保存・再現、防災機能等（緑豊かな広場空間、広域避難場所機能など）

リニア駅の構造に影響を与えない利用が前提

GL

JR東海は地元等での活用を想定

駅前広場

緑豊かな広場空間

駅前駅空間

例：品川駅港南口
<http://www.sicity.co.jp/e/e.html>

例：東京ミッドタウン

情報発信施設

地下駐車場

商業施設

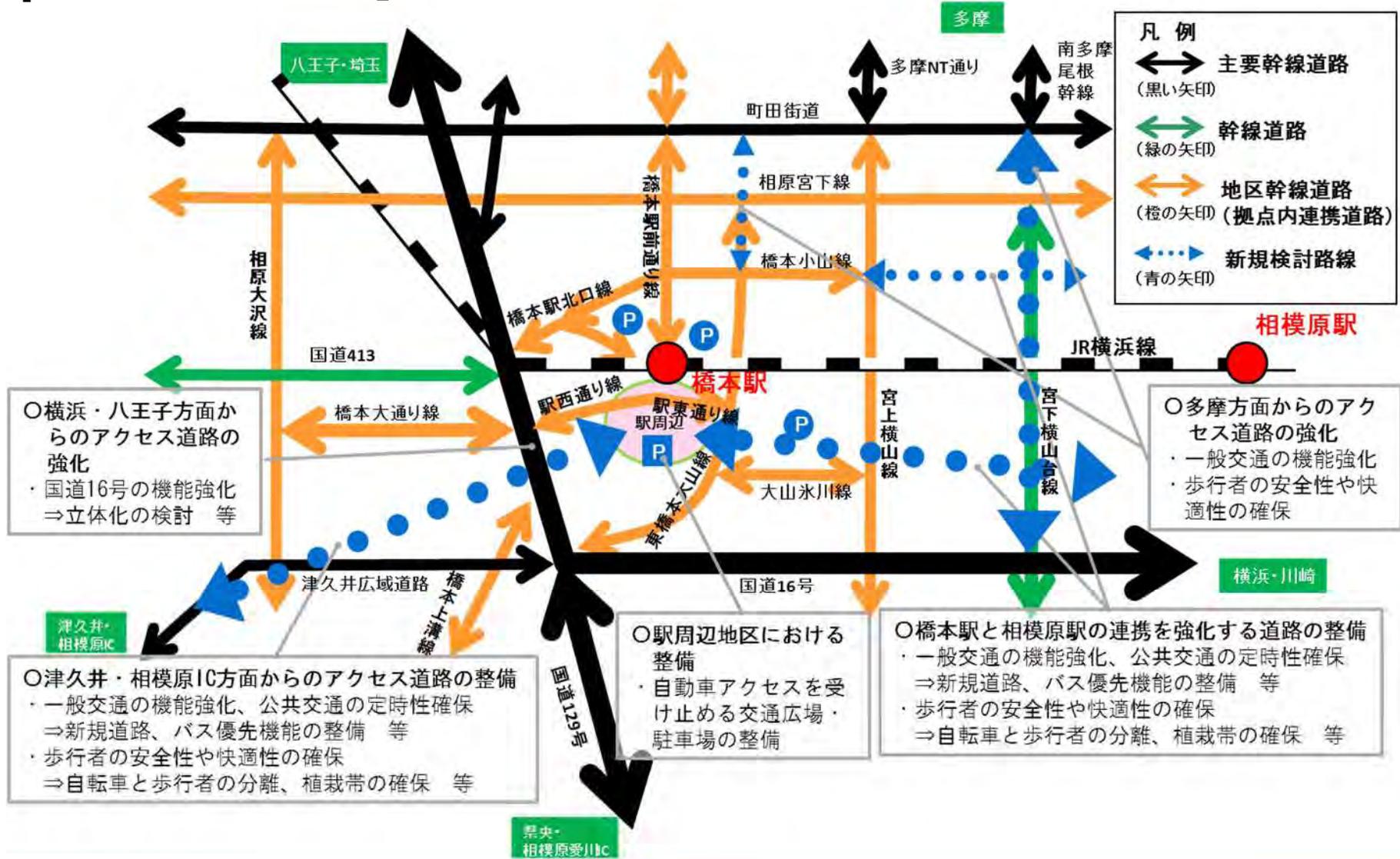
例：御茶ノ水ソラシティ

例：品川駅港南口

例：グランスタ(東京駅)
<http://minkara.carview.co.jp/userid/106065/spot/220973/>

第1回橋本小委員会の概要について

[交通ネットワーク] 将来における広域道路ネットワークの方向性



第1回橋本小委員会の概要について

[意見のまとめ]

(1)土地利用について

- 各ゾーンにおける導入機能を明確にしてほしい。
- 多摩地域などの企業にとって橋本駅はターミナル駅となるので、もっと広域的な視野が必要になってくる。
- 橋本駅周辺地区の活性化のためには、居住者、就業者、来街者のための機能集積、企業誘致が必要。
- 橋本駅周辺には宿泊施設が少ない。広域的な拠点形成においては、会議等が行える宿泊機能を伴った施設の立地が望まれる。
- 橋本地区へ人を呼び込むためには観光要素が必要。まちづくりエリア内だけでなく広域的な視点で検討してもいいのではないか。

第1回橋本小委員会の概要について

[意見のまとめ]

(2)交通ネットワークについて

- 橋本駅へのアクセス道路として、圏央道方面や多摩方面、国道129号以南等の道路ネットワークを検討してほしい。
- 圏央道開通による広域交通ネットワークの検討として、路線バス、高速バスとあわせて観光バスの検討をお願いしたい。また、高速バス・観光バスの滞留場所も必要となる。
- 道路ネットワークにおいて、新規道路及び既存道路の機能・役割を明確にしてほしい。駅前是一般車は進入させず、自転車と歩行者の空間が望ましいのではないか。
- 生活道路と通過交通のための幹線道路は分離してほしい。

(3)その他

- 相模原地区におけるまちづくりの検討状況についても情報を共有したい。

橋本駅周辺のまちづくりについて

資料 2

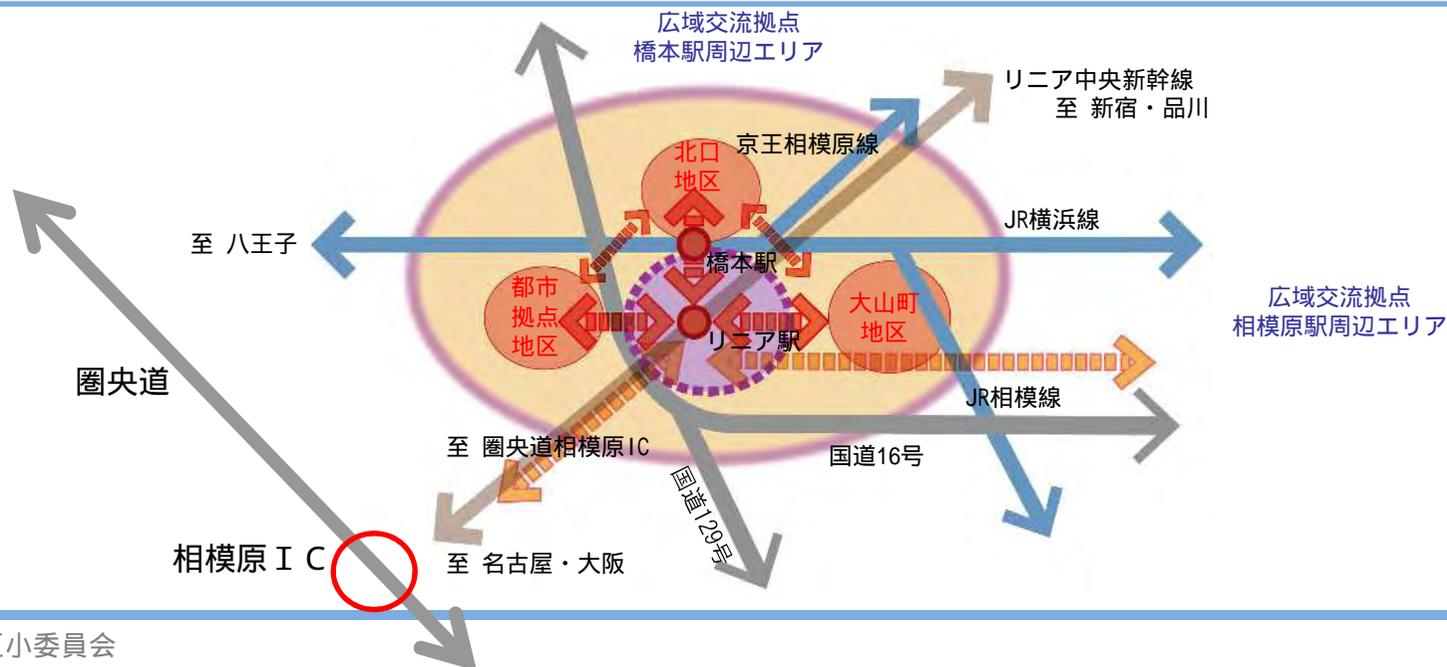
まちづくりの方針 都市構造（橋本駅周辺）

[土地利用]

- 橋本駅周辺では3拠点の形成が図られている中、県立高校移転、リニア駅開業を見据え、南口に新たな核を形成し、「交流・連携の核」として、広域的な連携軸を結ぶターミナルとしての機能を担う
- 核どうしを交流軸で結び、それぞれの核が有する機能・魅力を相互に高め合うことで、駅周辺地区全体の発展につながる都市構造を形成し、「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」の整備を図る。

[交通ネットワーク]

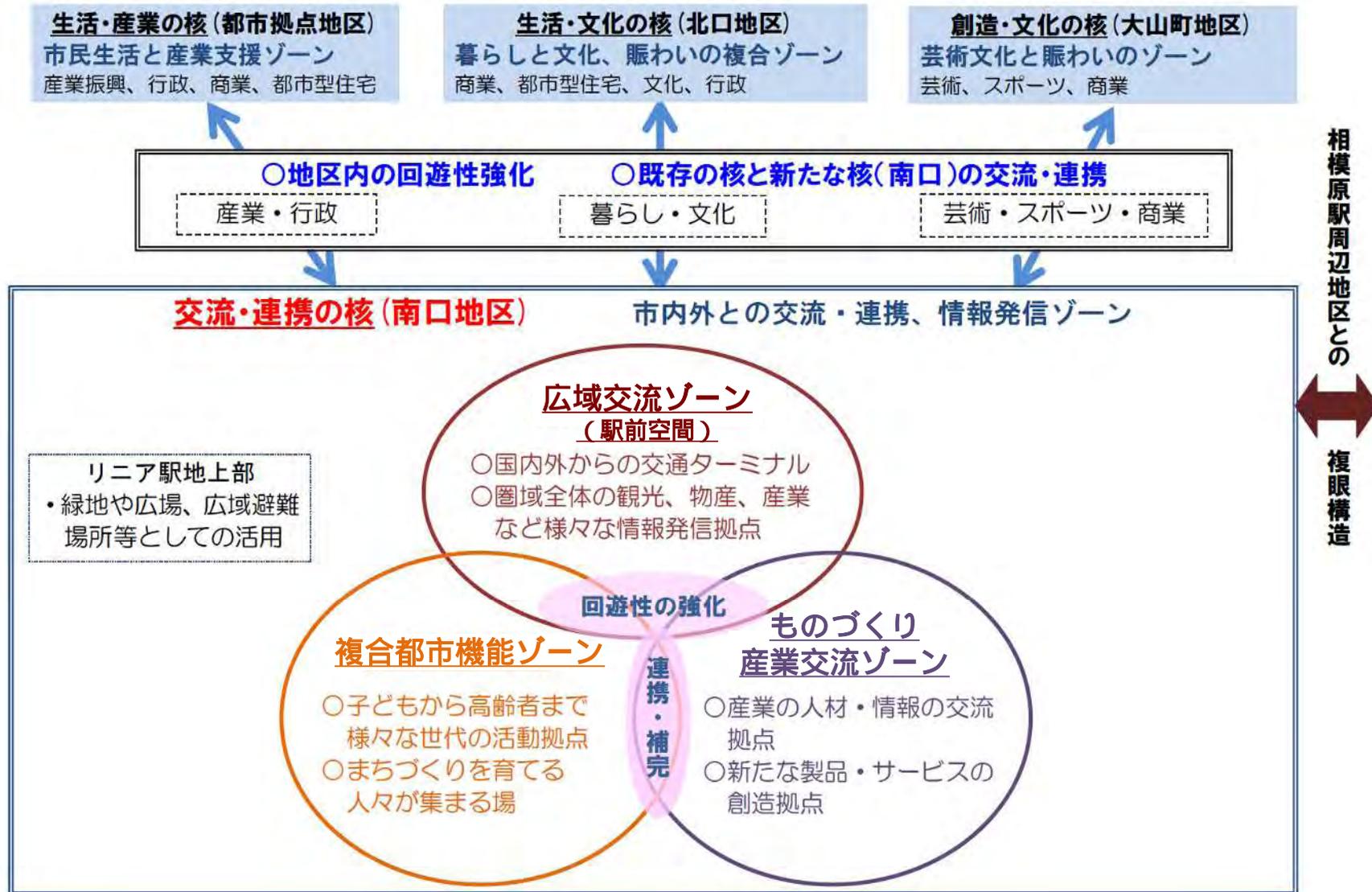
- リニア中央新幹線の建設や圏央道の整備等の効果を最大限に活用した「情報・人材・文化」の交流の要衝となる広域的交通ネットワークの構築
（東京都心や多摩、横浜・川崎、湘南、北関東などの周辺地域からの交通アクセス強化）
橋本・相模原両駅間の交通軸の強化



1. 土地利用について

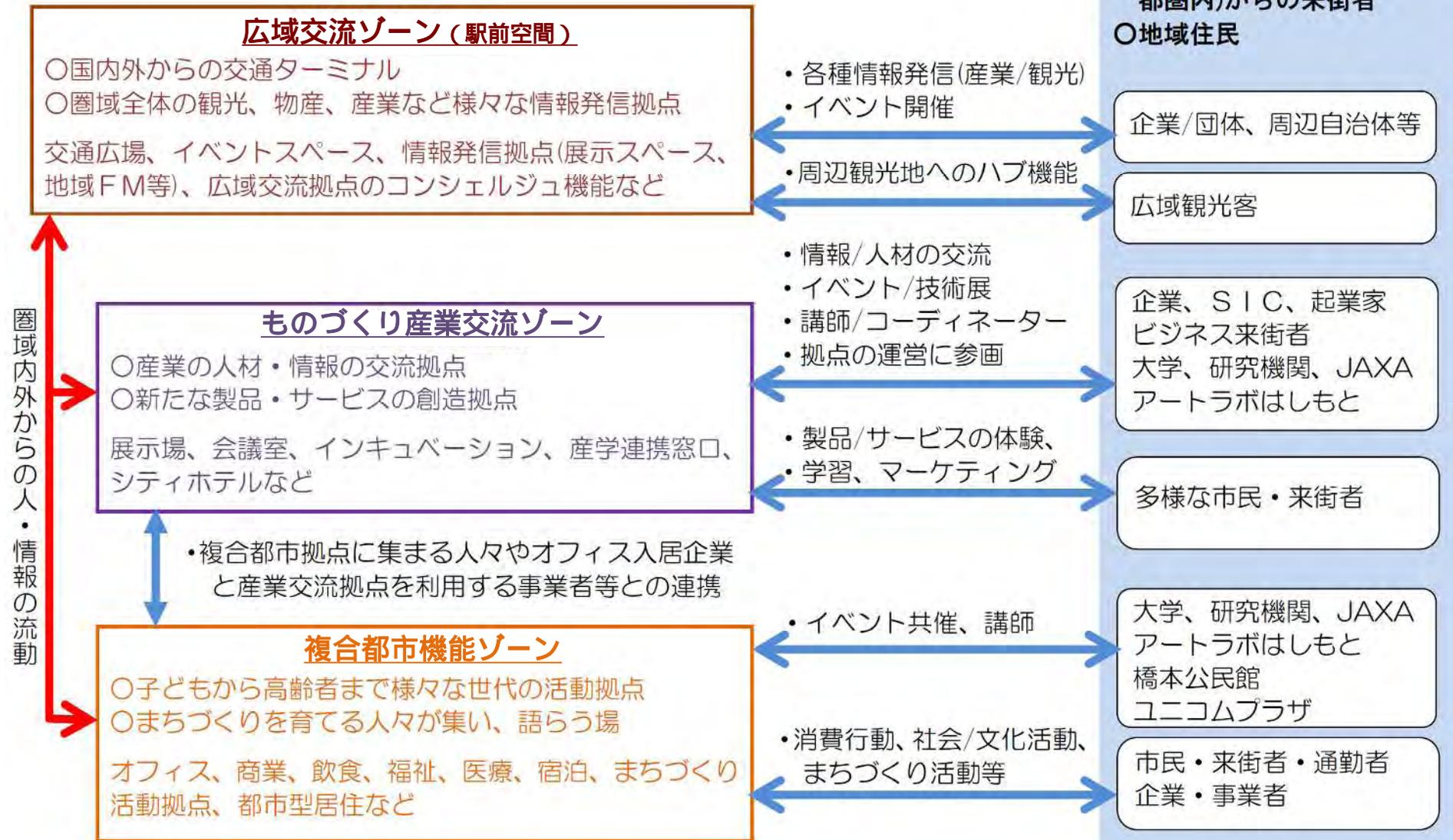
(1) 駅周辺地区の都市機能について

～南口の各ゾーンと既存地区(核)による相乗効果～



1. 土地利用について

(2) 都市機能集積の方向性と利用者等のイメージ(案)



1. 土地利用について

都市機能のイメージ

広域
交通
機能



交通広場



イベントスペース



サンクンガーデン



情報発信拠点

産業
交流
機能



ビジネスサロン



レンタルオフィス



産学連携



社会実験(マーケティング)

複合
都市
機能



まちづくり活動



健康増進



商業、飲食



宿泊・短期滞在

2. 交通ネットワークについて

(1) 橋本駅周辺地区の交通ネットワーク整備方針（基本計画より）

○**リニア駅勢圏拡大に向けた交通ネットワークの確立**
鉄道、高速バス等の広域交通ネットワークの強化
圏央道相模原ICからのアクセス道路の強化
多摩方面からのアクセス道路の強化

○**広域主要幹線道路としての国道16号の機能強化**
国道16号の立体化等による国道機能の強化
(骨格道路がスムーズに流れる道路網の強化)

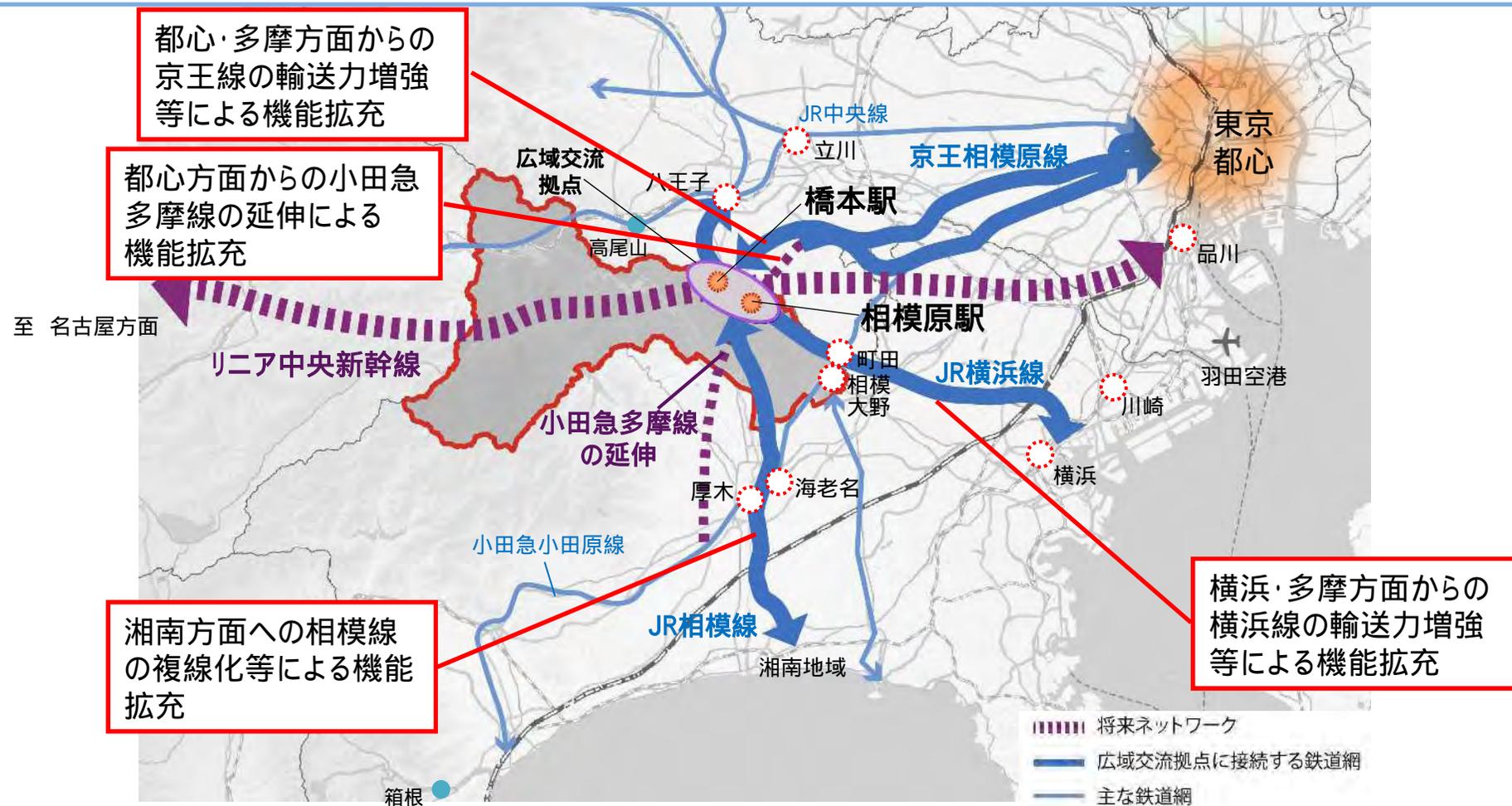
○**広域交流拠点における連携軸の強化**
相模原駅との拠点連携性を高める道路の強化

2. 交通ネットワークについて

(2) 広域交通ネットワークの強化(鉄道)

○広域交流拠点の交通ターミナルとしての整備の方向性

- ・多方面へとアクセスする複数の鉄道路線が乗入れる交通結節点としての機能強化



2. 交通ネットワークについて

(2) 広域交通ネットワークの強化(高速バス)

○広域交流拠点の交通ターミナルとしての整備の方向性

- ・高速道路等を活用する複数の長距離バスが乗入れる交通結節点としての機能強化



2. 交通ネットワークについて

(3) 駅周辺道路の整備における基本的な考え方

検討にあたっての視点

- ・人口減少・少子高齢社会に対応した公共交通ネットワークの強化
(バス網の充実、定時性やバリアフリーに配慮した利便性の確保)
- ・拠点性を高めるための自動車等でのアクセス性の確保
(周辺道路の渋滞対策、速達性の向上)
- ・充実した交通ターミナル機能の形成
(駅前空間における交通機能の確保)
- ・通過交通の生活道路等への侵入の防止
- ・防災性の向上に資する空間形成
- ・歩行者・自転車の安全性を考慮した空間の確保
- ・職業能力開発総合大学校跡地(相原高校・病院)へのアクセス性の確保

2. 交通ネットワークについて

(4) 橋本駅周辺へのアクセス道路の検討



2. 交通ネットワークについて

(4) 橋本駅周辺へのアクセス道路の検討

広域的な主要幹線道路として検討する路線

(周辺都市や地域間相互の交通利便性の向上に資する道路網)

- ・国道16号 (4車線) 国道16号の立体化等による機能強化
- ・宮下横山台線(2車線)の延伸・強化 多摩方面と国道16号を結ぶ道路ネットワークの強化

新たな地区内幹線道路として検討する路線

(広域的な道路網に効率的かつ効果的に接続し、地域活動を支える道路網)

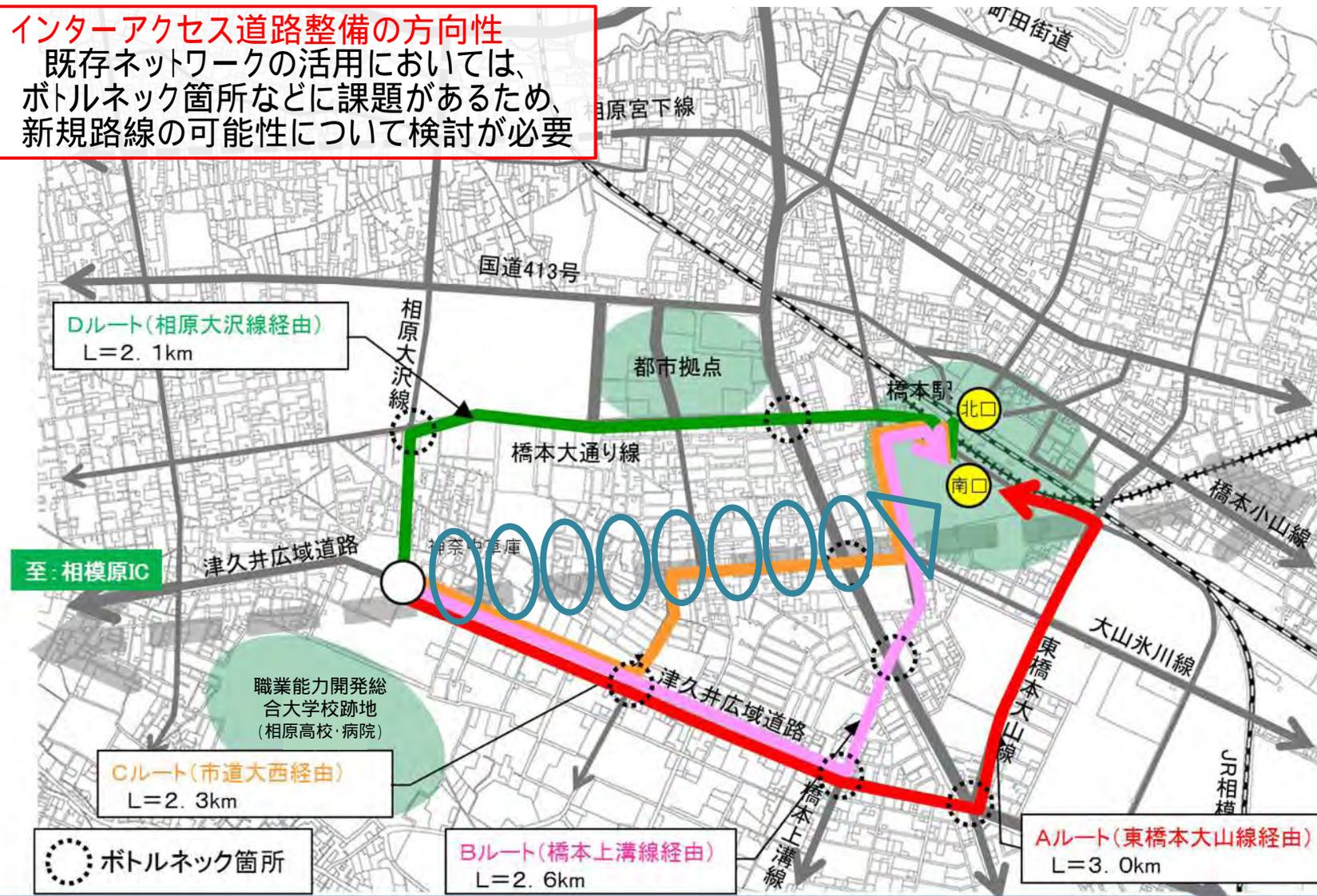
- ・インターアクセス道路 (路線の検討)
相模原ICと橋本駅南口を結ぶ幹線道路と津久井方面からの幹線バスルートとしての機能を担う
- ・大山氷川線 (延伸・強化の検討)
橋本駅周辺と相模原駅周辺を結ぶ幹線道路と相模原駅との幹線バスルートとしての機能を担う
- ・東橋本大山線 (延伸・強化の検討) 橋本駅南口と町田街道を經由し多摩方面を結ぶ幹線道路
- ・橋本小山線 (延伸の検討) 橋本駅北口と相模原駅北口を結ぶ幹線道路
- ・宮上横山線 (事業中) 橋本駅南口と多摩方面を結ぶ幹線道路

2. 交通ネットワークについて

(5) 圏央道相模原インターへのアクセス道路の検討

インターアクセス道路整備の方向性

既存ネットワークの活用においては、
ボトルネック箇所などに課題があるため、
新規路線の可能性について検討が必要

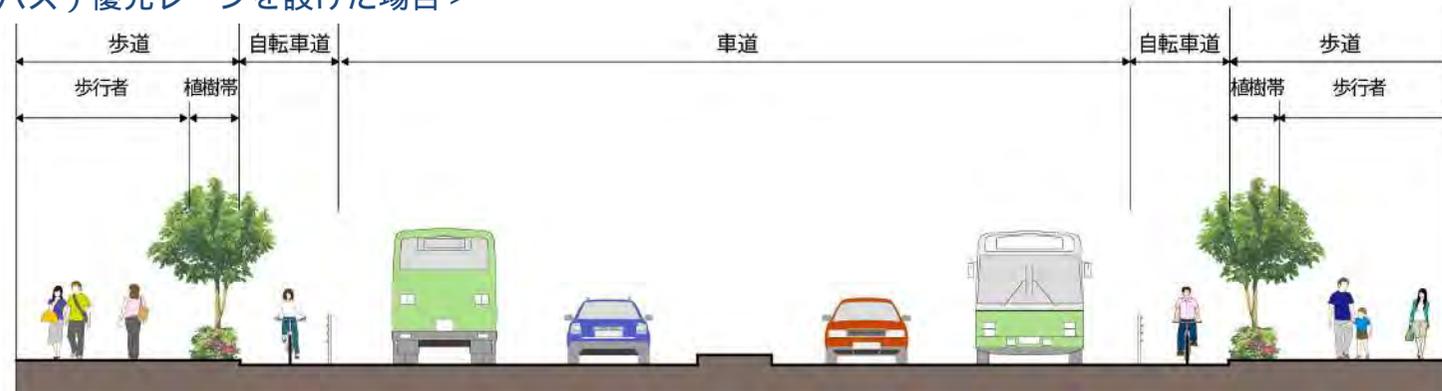


2. 交通ネットワークについて

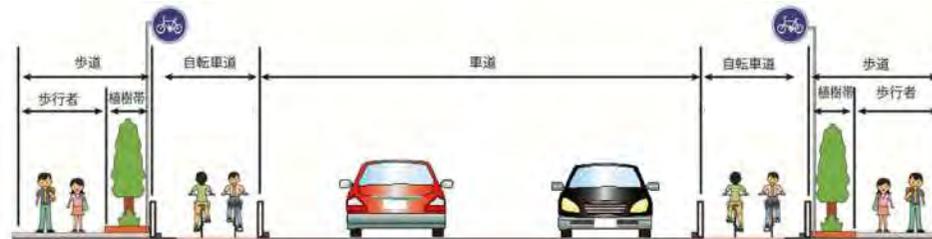
(6) 駅周辺道路の整備のイメージ (道路断面)

- 道路の機能や幅員に応じて、自動車・自転車・歩行者の配置について検討する。

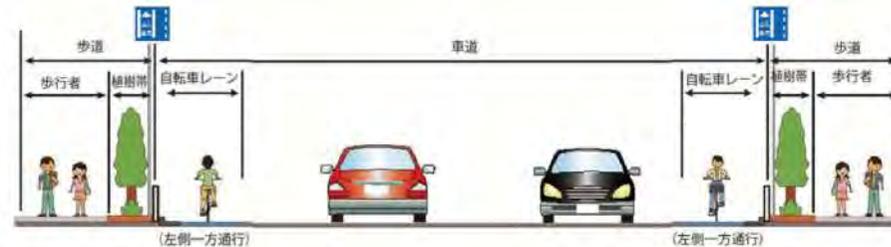
< 公共交通 (バス) 優先レーンを設けた場合 >



< 自転車道を設けた場合 >

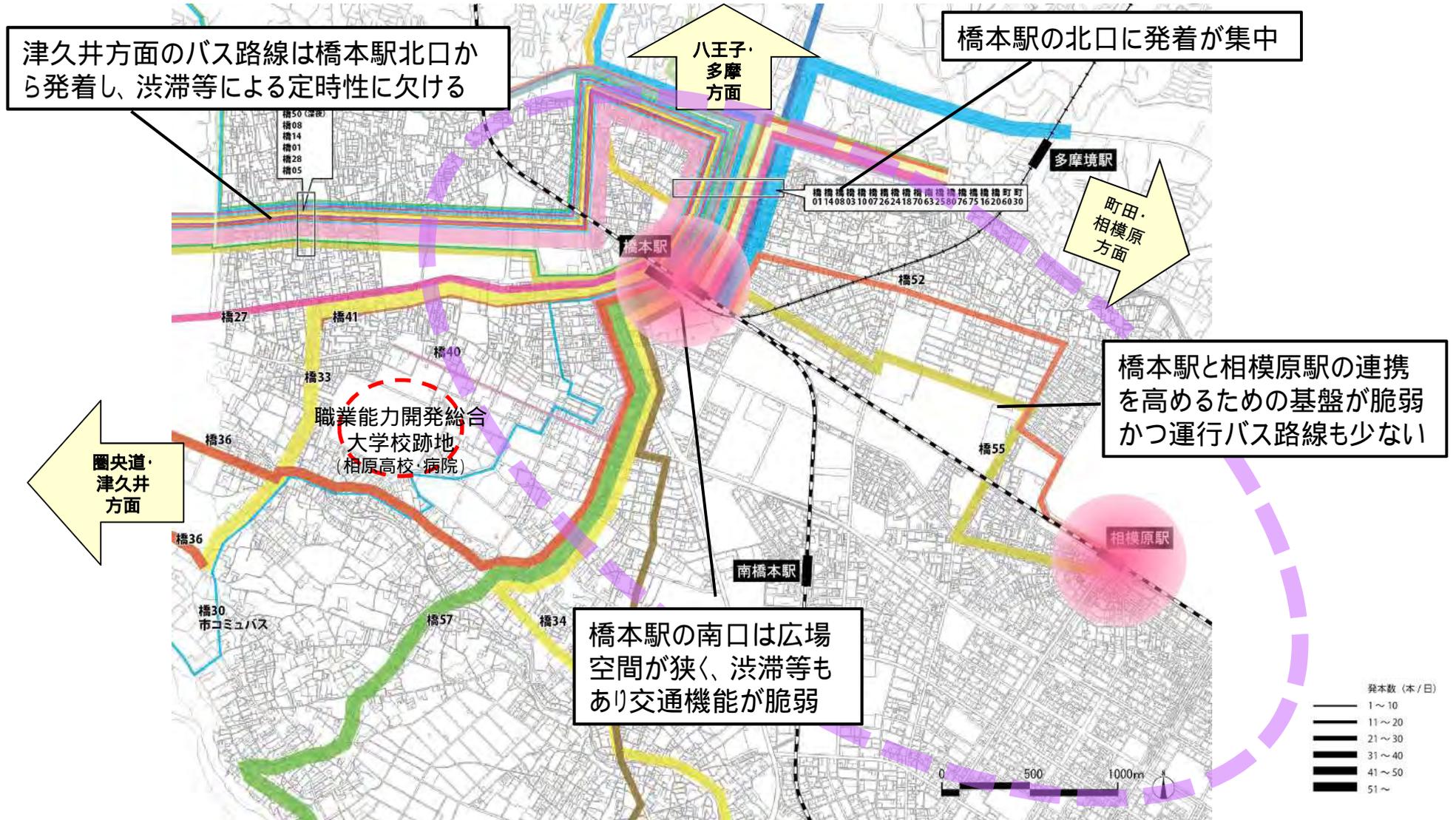


< 自転車レーンを設けた場合 >



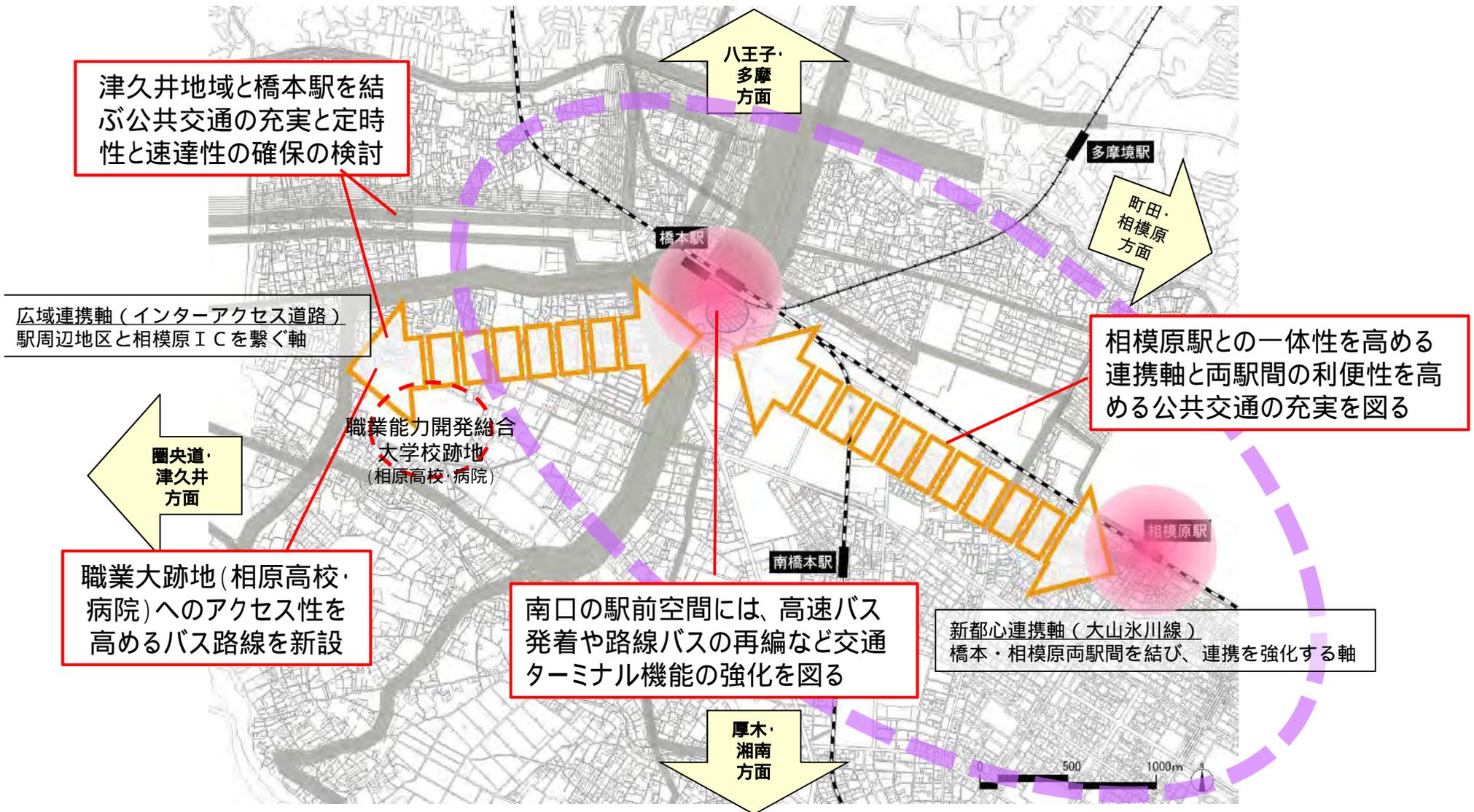
2. 交通ネットワークについて

(7) 路線バス交通網 (現況のバスネットワーク)



2. 交通ネットワークについて

(7) 路線バス交通網 (バスネットワークの将来構想)



3 . 駅前空間について

(1) 橋本駅南口駅前の主な課題

駅自由通路

京王線通路
現況幅員6m

JR線通路
現況幅員7m

JR線乗降客数
約12万人

京王線乗降客数
約9万人

自由通路幅員が狭く、
朝夕ピーク時に混雑
している

相原高校の豊かな
緑空間や防災空間
の代替機能の確保

一般車がバス等の
公共交通の円滑な
運行を阻害している

鉄塔や高圧線が
まちづくり(土地利用・景観形成)の
支障となる

橋本駅

リニア中央新幹線

3 . 駅前空間について

(2) 駅前空間整備の検討の視点

駅前空間整備の方向性(基本計画より抜粋)

首都圏南西部の交通ターミナル機能強化

公共交通の利便性向上及び首都圏のハブ機能としてのターミナル機能の強化を図る

広域交流拠点の「顔」となる駅前空間の実現

広域交流拠点の「顔」としてのシンボル性やにぎわいのある空間を兼ね備えた駅前空間を形成する

人が集い、ゆとり・潤い・憩いのある交流空間の形成

多くの来街者や市民がゆとりある快適な時間を過ごすことのできる交流機能の強化、空間形成を図る

歩行者ネットワークの方向性(基本計画より抜粋)

南北地域の回遊性の向上

駅南北間の回遊性がある一体的なまちづくりによる賑わい創出を図るため、駅自由通路の機能強化を図る

様々な交通手段における乗継利便性の向上

様々な交通手段にわかりやすく快適な乗換えができるよう、利便性の高い歩行者動線を確保する

歩行者を中心とした快適でゆとりある空間の創出

ユニバーサルデザインに配慮し、安全に安心して歩くことができる歩行者空間を創出する

駅前空間整備の検討の視点

様々な交通手段に対応した首都圏南西部の交通ターミナル機能の強化

- 様々な交通手段を支えるターミナル機能
- 在来線駅間やリニア駅、その他の公共交通等との乗継利便性の向上

広域交流拠点の「顔」にふさわしい賑わいや憩いのある駅前空間の形成

- 広域交流拠点の「顔」となる交流や賑わい空間の形成
- 賑わいが連続する「交流・賑わいの軸」の形成
- 安心とゆとりのある「緑と憩いの軸」の形成

駅とまちを結ぶ快適で安全・安心な歩行者空間の形成

- 橋本駅北口地区とリニア駅を繋ぐ自由通路の確保
- 広域交流ゾーン(駅前空間)と周辺のゾーンや地区を繋ぐ歩行者通行空間(歩道・デッキ・地下通路等)の形成

3 . 駅前空間について

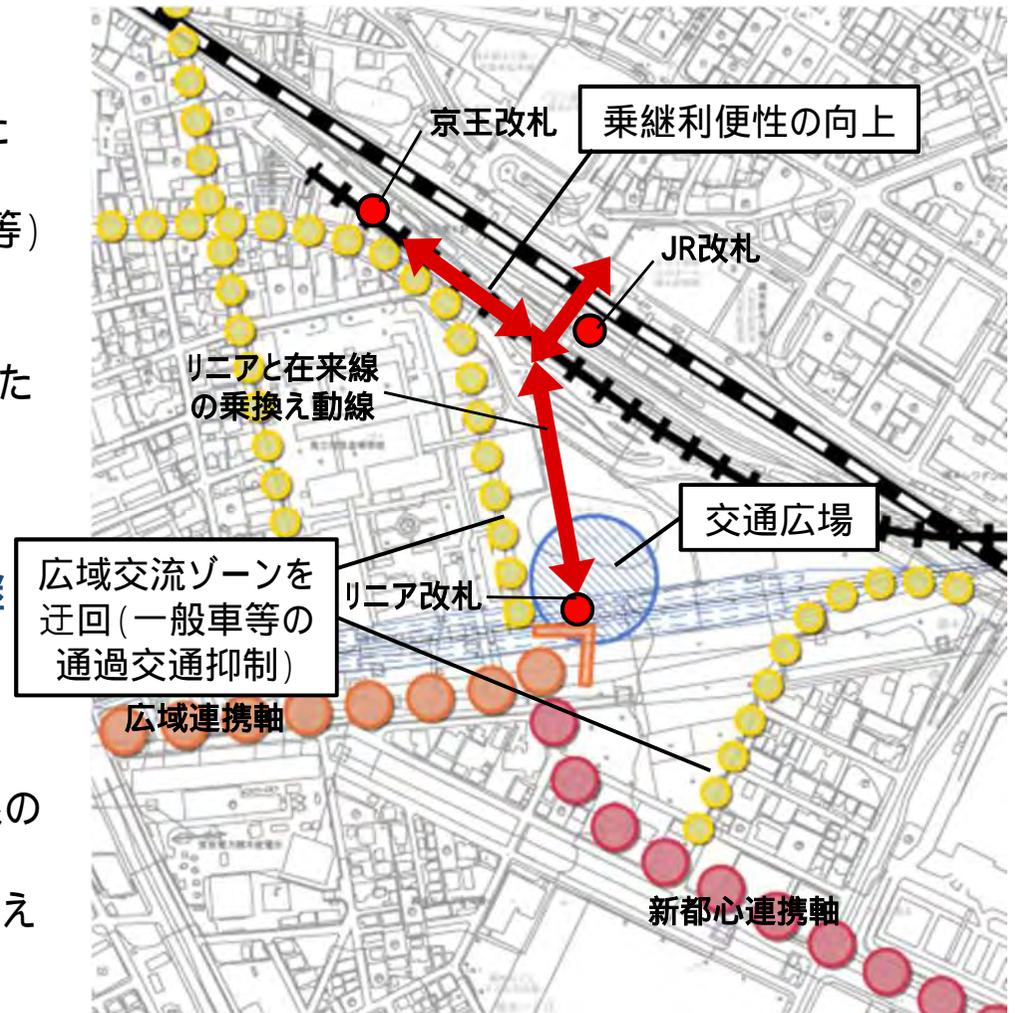
様々な交通手段に対応した首都圏南西部の交通ターミナル機能の強化

様々な交通手段を支えるターミナル機能

- 様々な交通手段に対応する利便性の高い充実した交通広場機能の確保
(路線バス・高速バス・観光バス・企業バス・タクシー等)
- 広域交流軸・新都心連携軸・リニアと在来線の乗換動線などが結節する位置に交通広場を配置
- 路線バス等の公共交通と一般車などの役割に応じた適切な機能配置
- 広域交流ゾーンへの一般車等の通過交通の抑制

在来線駅間やリニア駅、その他の公共交通等との乗継利便性の向上

- 乗継利便性に配慮した在来線駅の機能向上
(移動距離の短縮など)
- デッキ～地上～地下へのスムーズな乗り換え動線の確保
- 交通広場・リニア・在来線相互のスムーズな乗り換え動線の確保



3 . 駅前空間について

広域交流拠点の「顔」にふさわしい賑わいや憩いのある駅前空間の形成

広域交流拠点の「顔」となる交流や賑わい空間の形成

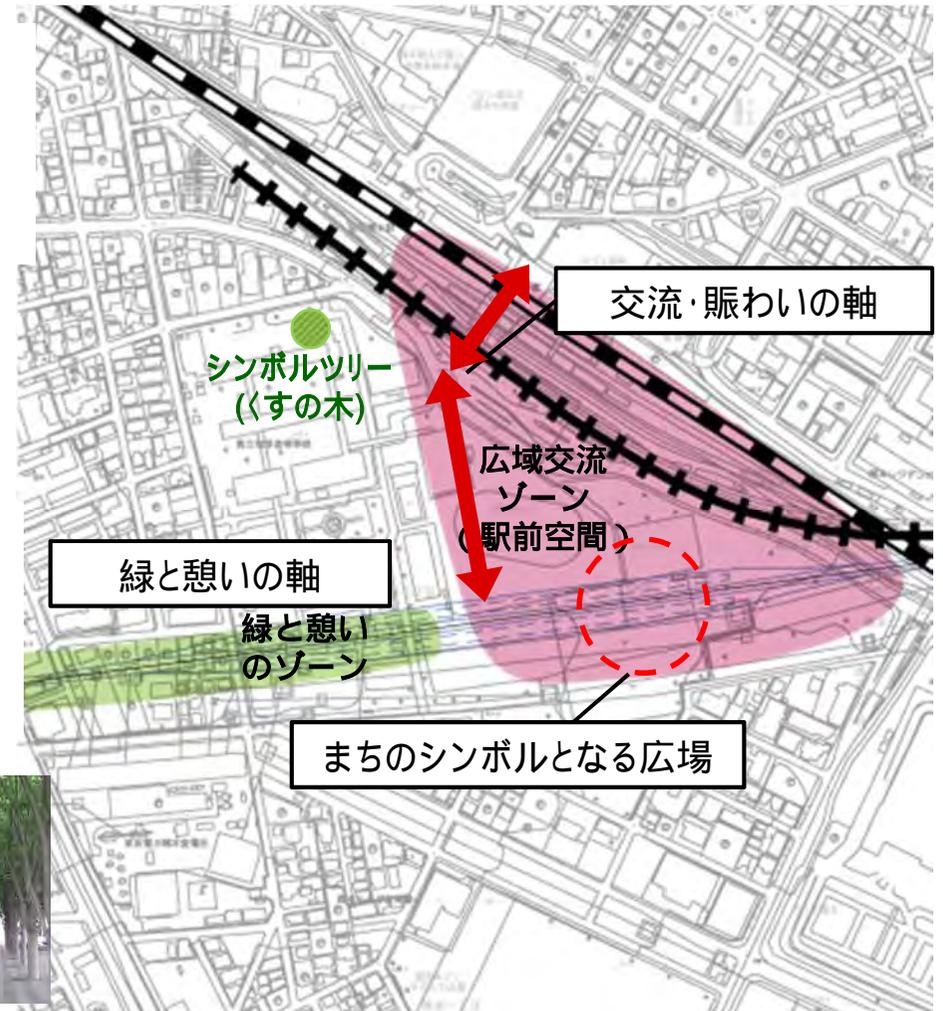
- シンボル性を兼ね備えた交流・賑わいを創出する「まちのシンボルとなる広場」の設置

賑わいが連続する「交流・賑わいの軸」の形成

- 来街者など多くが行き交う賑わい空間づくり
- デザイン性の高いまちなみづくりや賑わいとまちなみの連続性に配慮した空間を形成

安心とゆとりのある「緑と憩いの軸」の形成

- 緑の自然環境と市街地が調和した空間の形成
- 広域交流ゾーンと緑と憩いのゾーンをあわせた防災空間の確保



大阪駅 駅前広場



二子玉川駅 駅前空間



さいたま新都心駅 けやき広場

3 . 駅前空間について

広域交流拠点の「顔」にふさわしい賑わいや憩いのある駅前空間の形成

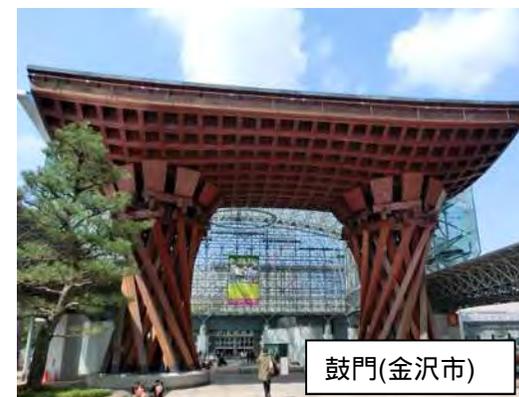
相模原の「イメージづくり」に向けた空間形成について

シンボル性のある顔づくりのイメージ

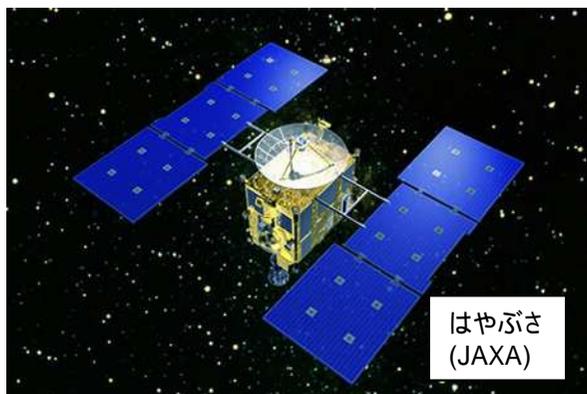
人工建造物



地域文化の象徴



産業振興



観光振興



ターミナル機能



3 . 駅前空間について

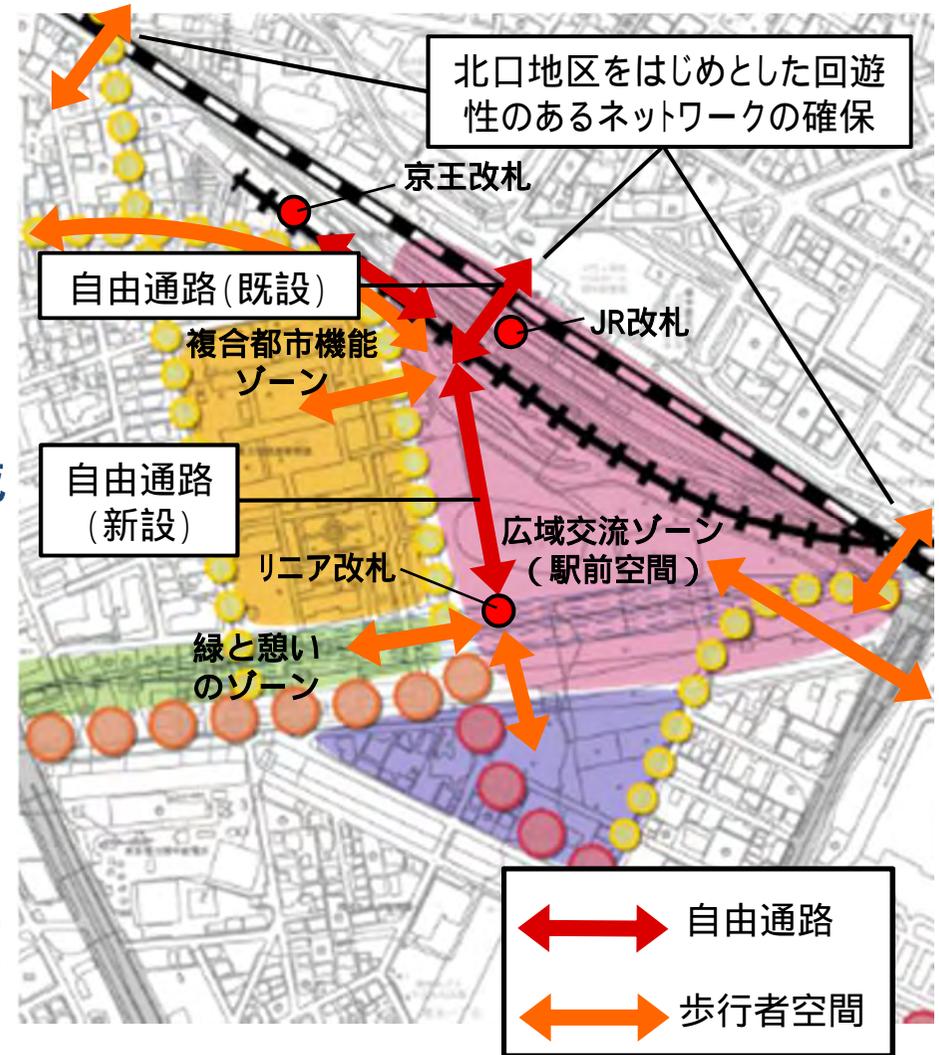
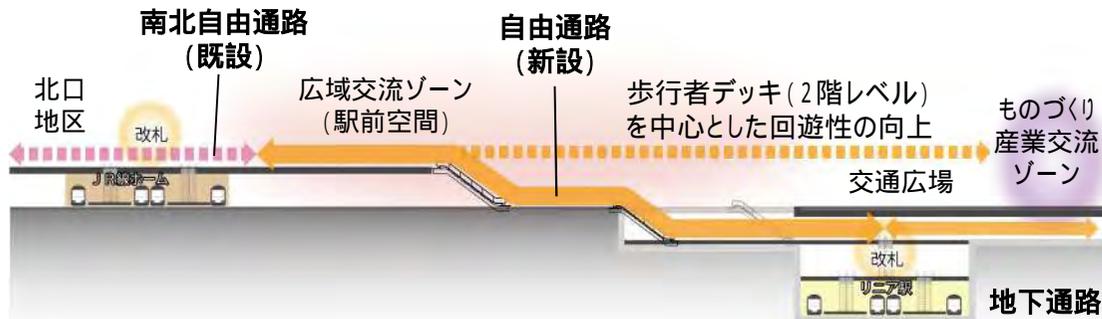
駅とまちを結ぶ快適で安全・安心な歩行者空間の形成

橋本駅北口地区とリニア駅を繋ぐ自由通路の確保

- 既設の自由通路の拡幅など混雑解消のための機能強化を検討
- 自由通路等の乗り換え動線には、情報発信機能や商業施設等の配置、高低差を活用した賑わいの演出を図る
- ユニバーサルデザインに配慮した誰もが利用しやすい歩行者動線の確保

広域交流ゾーン(駅前空間)と周辺のゾーンや地区を繋ぐ歩行者通行空間(歩道・デッキ・地下通路等)の形成

- ゾーン間、地区間を歩車分離で繋ぐ安全・安心な歩行者空間
- 北口地区やゾーン間におけるデッキ・地下通路等を中心とした回遊性のあるネットワークの確保



4 . 土地利用構想（案）について

橋本駅南口の土地利用の現況と課題（第1回橋本小委員会資料より）

- 県立高校周辺地域は、堅牢建物等が見られるなど市街化されているが、南口駅前は、現況需要の中においても道路、駅前広場等の交通基盤が十分整備されていない平成39年リニア開業を見据えたまちづくりにおいては、優先的にまちづくりを進めるべきエリアの設定や、地域との合意形成を進めながら段階的なまちづくりが必要である

